

町民一人に一つのスポーツを!

宇美町スポーツ協会(18部会)は町民の健康増進・スポーツ振興を目的に、元気に活動しています

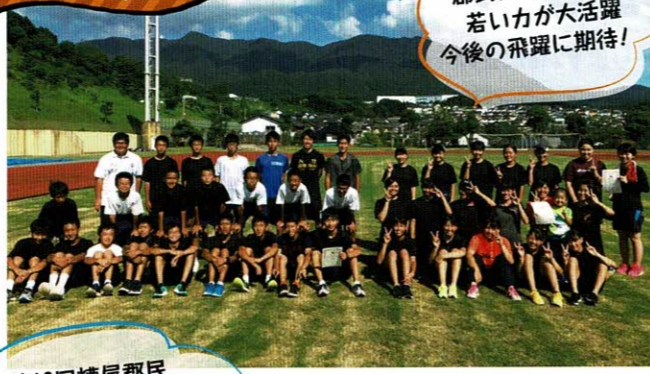


卓球部



老若男女、頑張っています!

陸上部



郡民スポーツ大会
若い力が大活躍
今後の飛躍に期待!

第68回糟屋郡民
スポーツ大会
若人たちの力で立派な成績を
収めることができました!

バスケットボール部



第68回
全国青年大会に
4度目の出場!



令和の時代も
全員野球!

野球連盟



バレーボール協会

宇美町スポーツ協会会長のあいさつ

宇美町町制100周年、東京オリンピック、パラリンピック開催の歴史的な時代に皆様と共に新しい年度を迎えられる事に共に喜びたいと思います。時代の中で従来の体育から、より広い定義の下でのスポーツとしての解釈へと流れが変化して来ました。未来を創造しながら「参加、応援、支える、表現する」等の感動に各自が携われる機会に恵まれ、スポーツを通じてより豊かな人生と地域とを自ら創り出して行ける事を願って止みません。感動の環境を広めて行きましょう!

— 宮内 作良 —



公益財団法人日本スポーツ協会から表彰されました。

東京都で開催されました「令和元年度 公認スポーツ指導者全国研修会」において永年の公認スポーツ指導者の功績がたたえられ、元宇美町体育協会(現宇美町スポーツ協会)会長 上田 徹雄氏が公認スポーツ指導者等表彰を受賞されました。

令和元年度 宇美町スポーツ協会永年功労者表彰

本年度は、スポーツ協会役員として永年ご尽力された4名の方に、感謝状が授与されました。

南里 正美さん
所属部会 テニス部



この度、宇美町スポーツ協会の副会長を退任いたしました南里です。二十二年間という大変長い期間、役員としての重責を果たせましたのも、会員の皆様のご協力と役員の皆様のご指導・ご鞭撻があったればこそと、あらためまして感謝申し上げます。

《スポーツ協会での経歴》

平成九年〜平成十年 副総務部長
平成十一年〜平成十二年 競技部長
平成十三年〜平成三十年 副会長

畑瀬 清子さん
所属部会 水泳部



二〇〇一年四月に広報委員会が発足され、その年から二〇一八年まで一員として、年一回発行の広報誌やスポーツ協会の三十周年記念誌を。広報部長としては、四十周年記念誌作成に関わる事ができました。

水泳部も同じく、二〇〇一年四月の発足となり、同時スタートで、どちらも無我夢中で歩んだ思い出多い広報委員会となりました。振り返ると、なんと一八年間も長きにわたる事を、嬉しく思います。今後も、広報誌を通じていろんなスポーツに興味・関心を持ってもらえたらと思います。

《スポーツ協会での経歴》

平成二十三年〜平成二十四年 副広報部長
平成二十五年〜平成三十年 広報部長

吹野 和弘さん
所属部会 卓球部



この度、宇美町スポーツ協会より感謝状を頂き誠にありがとうございます。町民卓球大会の主幹である卓球部から協会役員にと依頼され承諾しました。あれから三期(六年間)務めさせて頂きました。短い期間ではありましたが充実した日々を過ごせました。そして良い経験させて頂きました。感謝いたします。これからのスポーツ協会の発展に期待しています。

《スポーツ協会での経歴》

平成二十五年〜平成二十九年 副総務部長
平成三十年 副広報部長

飯田 武美さん
所属部会 山の会



競技委員として各競技のお手伝いをしていましたが、役員の副競技部長になってからは、競技委員の時と違って各競技の会場責任者として、責任の重さに緊張の連続でした。二年〜三年とやっつけていくうちに要領が分かり、皆様の協力で楽しくやれました。

副競技部長として六年間、お世話になりました。これからも、スポーツ協会の発展を願っております。

《スポーツ協会での経歴》

平成二十五年〜平成三十年 副競技部長

編集後記

平成から令和に改元された最初の宇美町スポーツ協会広報誌の編集後記を書かせて頂いたことに感謝いたします。宇美町スポーツ協会に所属している部会は18部会で広報部に携わっている部会が13部会、この13名の広報委員と役員2名計15名で広報誌を作成しています。メンバーは働き盛りの社会人が多く広報会議を欠席せざるを得ない事もありましたがなんとかこの広報誌を完成させる事ができました。今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。選手たちはこの数日の為に体調を整え練習してきた事を100%発揮できるよう精神面も鍛えているのでしよう。選手たちの素晴らしい演技・競技に期待しましょう。

最後にこの広報誌を通じて、子育てから手が離れた方、学生の時にやっていたスポーツをもう一度やりたい方、新しいスポーツにチャレンジしたい方等、興味がある方の始めるきっかけになればと思っています。

次号は陸上部、卓球部、バスケットボール部の紹介文を掲載します。

卓球部 吹野 和弘

各部会に興味ある方はスポーツ協会までご連絡ください。

発行：宇美町スポーツ協会

TEL:092-933-2784 携帯:090-7452-9899

Eメール:umi-taikyou@leo.bbq.jp

第68回 糟屋郡民スポーツ大会

バドミントン部



元号が令和に変わった記念すべき第68回糟屋郡民スポーツ大会が7月28日に、宇美町を主管町として、熱き戦いの幕があげました。総合開会式において、私達バドミントン部の代表が日頃の練習の成果を発揮することを宣誓しました。バドミントンの戦いの会場は住民福祉センター体育館です。

有言実行を目指し団体、個人戦共に全員で気合いを入れて試合に臨みました。団体は粕屋町と志免町に勝利して決勝戦へ進みましたが、須恵町に惜敗して準優勝でした。一方、個人戦ではジュニアの子供達が女子ダブルスで快進撃を続け、4パートの内、3パートで1位を成し遂げ、決勝トーナメントに進み見事、優勝と2組が3位を勝ち取りました。男子ジュニアも奮闘して準優勝に輝きました。

将来のバドミントン部を明るく楽しく盛り上げてくれる若者やジュニア達が頼もしく思えた笑顔あふれる郡民スポーツ大会でした。バドミントンに興味のある方は、スポーツ協会にご連絡下さい。お待ちしております。



剣道部



宇美剣友会についてご紹介させていただきます。宇美剣友会は剣道を通じて会員相互の練習と親睦を図り、あわせて健全な青少年の育成を通じて社会教育の振興に寄与する事を目的とし、今年で52年の歴史ある団体です。現在、世利会長を中心とし、大人約60名、少年(幼年から中学生)約40名が在籍しており切磋琢磨しながら汗を流しています。各種大会にも積極的に参加し、試合を通じて他団体との交流・親睦を深め友達の輪が広がっています。

剣道段位審査においては中学生で二段まで取得、経験者はもちろんのこと、大人から始められた方でも段を取得されるなど皆さん積極的に取り組んでおられます。

剣道は礼を重んじる武道であり、礼儀を大切にすると共に、人と人の繋がり、相手を思いやる心も学んでおります。有段者の先生方も多数在籍し熱心な指導をされています。

ぜひ一度道場を覗いてください。初心者大歓迎ですよ。(少年の部において、体験入部もやっています。)

小さい子もしっかり打ち込んでいます



全国大会に出場しました



練習場所

宇美町立武道館 (JR宇美駅横)
 【少年の部】
 火・木・金 18時30分～20時30分
 日曜日 9時00分～10時00分
 【一般の部】
 日曜日 10時00分～11時00分

町民軽スポーツ大会

令和元年11月3日(日) 住民福祉センターにて第1回軽スポーツ大会が開催されました。自治会対抗で2種目、シャフルボードとスカットボールが行われました。参加は137名で、シャフルボード5パート、スカットボール2パート、リンクリーグ方式で各競技の優勝、準優勝を競いました。

カーリングに似た方法で行うシャフルボードは、丸いディスクをキューで押し点数の付いた三角形の得点エリアを狙って相互にシュートして、総合得点の結果で勝敗が決まる競技です。最後まで勝敗がわからないので、大逆転もありで、この日は歓声も上がり盛り上がりがありました。

ゴルフやグラウンドゴルフに似たスカットボールは、木製のボールをスティックで得点穴に打ち入れる、これも、相互に行う競技です。この競技も最後の一投まで勝敗が決まりにくいので、皆さん集中して一点を見つめ盛り上がりがありました。

この2種目は、小学3年生位からご高齢・障がい者にも幅広く知って頂きたい競技です。「ハマ」ること間違いなしです。

スポーツ協会では様々な講習会を受け、幅広い参加を求める軽スポーツを宇美町に発信して行きたいと思っております。応援だけでなく、是非ご参加下さい！



シャフルボード



スカットボール

【令和元年 第1回軽スポーツ大会結果】

シャフルボード
 優勝 四王寺坂一自治会
 準優勝 とびたけ一自治会

スカットボール
 優勝 炭三自治会
 準優勝 四王寺坂二自治会

相撲部



我々相撲部は、宇美八幡宮にある宇美町相撲場を活動拠点として活動しております。

主な活動といたしましては、糟屋郡民スポーツ大会や子ども育成会が主催で開催している子ども相撲大会、青年団が主催している奉納相撲大会での審判等の大会運営やそれぞれの大会に出場する選手の育成です。

相撲は、土俵の上で力士が組合って戦う形を取る日本古来の神事や祭りであり、同時に武芸でもあり武道でもあります。

宇美町においても、宇美八幡宮奉納相撲という神事を中心に受け継がれており、盛んに行なわれています。

しかしながら、時代の流れとともに参加者が年々減少しているのも現状であります。今後の課題といたしましては、参加者をいかに増やしていくかということが重要になってきます。

これからも古くから受け継がれた歴史と伝統を守り、「礼に始まり、礼に終わる」という礼節を重んじる精神を大切に、相撲を通して青少年の健全育成に貢献できるよう活動していきます。

